

# 施策分析シート（平成28年度）

No1

施策名	人権・平和の普及啓発	施策No	10-03	部課名 課長名	総務企画部 梅原	総務企画課 内線 2110
関連部課名						
行政評価 事業体系	分野 政策	V 10	文化創造都市 活気ある地域コミュニティの形成			
目的	○人権の尊さ、平和の大切さを区民に広く普及啓発することにより、平和を愛し、思いやりと互助の精神にあふれた温かい地域社会の形成を図る。 ○女性も男性も、その個性と能力を十分に發揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。					
指標	幸福実感指標名 (5段階評価)		指標の推移		指標に関する質問文	
			25年度	26年度	27年度	
	①文化的寛容性		2.71	2.57	2.60	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？
	②					
	③					
	④					
	施策の成果とする指標名		指標の推移			指標に関する説明
			25年度	26年度	27年度	
	①人権・平和事業参加人数 (人)		1,383	1,555	1,507	28年度 見込み (28年度)
	②男女平等社会形成のための講座・講演会参加人数(人)		1,167	1,424	1,143	1,200
	③					
	④					
	⑤					
現状と課題 (指標分析)	○社会情勢の変化に伴い、人権問題も多様化・複雑化しており、これらの問題に対する理解が未だ広く社会に浸透しているとは言い難い。多様性を尊重し、そこから生じる様々な違いに寛容なコミュニティを形成することが必要である。そのために、それぞれの人権問題に対する理解と人権意識の向上を図っていくことが必要である。 ○男女共同参画の実現を阻害する要因の一つは、人々の意識の中に長い時間をかけて形作られてきた性別に基づく固定的な役割分担意識であり、時代とともに変わりつつあるものの、国や区等の意識調査において大きな変化は見られない。よって、男女平等意識の醸成に寄与する施策を講じる必要がある。					
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 ○多様性を認識し理解してもらえるよう、様々な人権問題等に関する普及啓発事業を実施する。当該施策を実施するにあたっては、多くの人が繰り返し人権問題を考える機会を持てるように工夫し、広く情報提供できるよう努める。こうした取り組みにより、区民の人権・平和意識等の向上を図っていく。 ○固定的な役割分担意識を解消し、男女共同参画に関する認識を深め、定着させるための広報、啓発の施策を推進する。					

施策の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	人権・平和・男女共同参画について、広く区民に普及・啓発していく。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業No	決算額(千円)		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		26年度	27年度	28年度	29年度	
荒川さつき会館管理運営事業	01-01-27	16,408	16,224	継続	継続	地域住民の交流促進及び人権施策推進の施設として、引き続き適切な管理・運営を行う。
人権・平和普及啓発事業	01-01-28	2,312	2,414	推進	推進	人権の尊さや平和の大切さを広く区民に普及啓発する。
男女平等推進センター管理費	01-01-31	10,753	11,516	継続	継続	男女共同参画社会の実現をめざす拠点施設として、さらなる効率的運営を図る。
男女平等推進センター運営事業	01-01-32	9,760	9,830	継続	継続	引き続き、男女共同参画社会形成促進の拠点施設として適切な運営を行う。
男女共同参画啓発・相談事業	01-01-33	5,554	5,580	推進	推進	国では、男女共同参画社会基本法及び男女共同参画基本計画に基づき、施策を推進、また25年度より成長戦略の中核として「女性の活躍」を掲げている。よって、区としても重要課題とし取り組む必要がある。
男女平等推進センター營繕事業	01-01-34	13,020	0	推進	推進	施設の安全性を維持するために必要不可欠である。
合 計		57,807	45,564			